

亜鉛はなぜ健康に必要なのか？
亜鉛欠乏症はどのような病気なのか？
基礎と臨床の両側面から
理解と解明に挑みます。

亜鉛と臨床・基礎の接点

第24回 日本亜鉛栄養治療研究会 学術集会

参加費
1,000円

特設サイトにて
6月上旬から
参加登録受付
スタート

日時

2022年 **8月6日(土)**
12:00-18:00

会場

ハイブリッド開催
(オンライン&現地参加)
新大阪丸ビル別館
大阪市東淀川区東中島1-18-22
JR東海道本線 新大阪駅東口から徒歩約3分

プログラム

会長推薦講演

●アナンダ・ブラサド博士 追悼企画
深田 俊幸 先生 | 徳島文理大学薬学部 教授
Prasad先生を偲ぶ
——輝かしいご功績と思い出

一般演題

募集中

詳細は裏面をご覧ください

特別講演

●基礎領域

吉川 豊 先生 | 神戸女子大学 健康福祉学部 教授
糖尿病治療を目指した数百種の
亜鉛錯体の合成とその成果

玉野 春南 先生 | 静岡東都医療専門学校 講師
メタロチオネイン合成を新機軸とする
アルツハイマー病の防御戦略

●臨床領域

西川 浩樹 先生 | 大阪医科薬科大学消化器内科 先端医療開発学寄附講座 特任准教授
肝疾患におけるサルコペニアと亜鉛の関係

プログラムは変更になる場合があります。
最新情報は下記の特設サイトにてご確認ください。



第24回日本亜鉛栄養治療研究会 学術集会

↓ 特設サイトはこちら

<https://zinc-jznt.org/meeting/24th/>

第24回 日本亜鉛栄養治療研究会学術集会の開催に寄せて

このたび、第24回日本亜鉛栄養治療研究会学術集会を開催するにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

初めに、新型コロナウイルス感染症により、健康被害を受けられた方にお見舞いを申し上げるとともに、お亡くなりになられました方に対しまして、心よりご冥福をお祈り申し上げます。本研究会には多くの医療従事者が会員登録されています。医療従事者のみなさまのご尽力に敬意を表すとともに、一刻も早い事態の収束を祈念いたしております。

2022年2月に開催した第23回学術集会は、第21、22回学術集会にひきつづき、オンライン形式での開催となりました。多方面の分野から6名もの方に講演者としてご登壇いただいたほか、一般演題として8名の発表者によるプレゼンテーションを実施するなど、オンライン開催でも活発な交流ができるよう、新たな試みに取り組みました。みなさまの積極的なご参加もあり、400名ちかい方に参加登録いただいた盛況な会となりました。

第24回学術集会は、新大阪丸ビル別館会場とWEB配信を併用してハイブリッド形式での実施を予定しております。新型コロナウイルスの感染状況に留意しながら、より多くの方がたに亜鉛の重要性を認識していただけるよう、さらに充実した交流・議論の場を用意したいと考えております。第24回学術集会を担当いただく海道利実先生、神戸大朋先生、川原正博先生のご尽力に深謝するとともに、

みなさまのご理解とご協力に感謝申し上げます。

今回の学術集会も本研究会のモットーである基礎と臨床の融合を意識して、「亜鉛と臨床・基礎の接点」をテーマに構成しました。基礎領域では吉川 豊先生から糖尿病治療を目指した亜鉛錯体の合成とその成果について、玉野春南先生からはメタロチオネン合成を新機軸とするアルツハイマー病の防御戦略について、臨床領域では西川浩樹先生から肝疾患におけるサルコペニアと亜鉛についてご講演を賜りたいと思います。今回は2月に逝去されたアナンド・プラサド先生に追悼の意を表すと同時に、プラサド先生のお仕事をみなさまとともにふりかえる「追悼講演」を前会長の深田俊幸先生にお願いしております。なお、これまでは参加費無料でしたが、さまざまな理由から、今回からは参加費として1,000円をいただきたいと思っております。なにとぞご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

本研究会は、基礎と臨床の両側面から亜鉛の重要性を究明してまいります。多くの方がたのご参加をお願い申し上げますとともに、第24回学術集会の盛会を心より祈念いたしております。

日本亜鉛栄養治療研究会

会長 川口 雅功

(済生会和歌山病院消化器内科・部長)

一般演題(基礎・臨床)を募集します

基礎研究者、臨床にたずさわる医療関係者に日ごろの亜鉛に関するデータを発表いただき、議論の機会を増やして、亜鉛の重要性を広く知っていただくことを目的としています。

募集要項

応募期間：2022年5月9日(月)～6月24日(金)

応募先：日本亜鉛栄養治療研究会 事務局(京都通信社内)

(問合先)

電話：075-211-2340 ファクス：075-231-3561

E-mail：zinc-jznt@kyoto-info.com

提出情報：演題名、発表者名、所属、領域区分(基礎/臨床)、抄録(800字以内)

抄録をご提出いただいた時点でエントリー完了とさせていただきます。

発表形式(口演/ポスター)は審査のうえ決定し、後日、応募者にお知らせします。

第24回 日本亜鉛栄養治療研究会学術集会

担当世話人 海道利実(主)、神戸大朋(副)、川原正博(副)

●協賛 日本微量元素学会